

令和6年度

肢体不自由教育部門

高等部

第2学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	論理国語		学習グループ名		高⑤		
目標・ねらい	(1) 論理的に書いたり、批判的に読んだりする力を育成する。 (2) 論説文や資料を読み、自分の考えを論述したり討論したりする。 (3) 複数の文章を読み比べて論じることができる力を付ける。						
担当教職員 *学校介護職員	所 竜之介						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	新編 論理国語 (大修館書店)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫		
4	論理を学んでできること ・知の登山、知の水路	6	○「知」の力、「論理」の力の大切さについて考える。 ◆筆者の考えを読み取る。		・比喩表現に着目して筆者の考えを読み取る。		
5	具体と抽象 ・突然変異と進化の関係 ・ウサギの耳はなぜ長い?	6	○様々な情報を整理し、抽象化して考えをまとめる。 ◆具体と抽象について考えを深める。		・具体、抽象を対比するように図示して視覚的に捉える。		
6	対比をとらえる ・米の種類と食文化 ・デジタル地図から見える世界	14	○対比という方法に着目し、その効果的な用方を学ぶ。 ◆対比の関係について考えを深める。		・対比という方法を具体例を交えて説明をする。 ・対比されているものを明確にし、相違点を捉える。		
7							
9	主張をつかむ ・文化としての科学 ・人工の自然	6	○主張を支えるために、どのような根拠を示しているかを学ぶ。 ◆主張と根拠の関係を意識して本文を読み取る。		・序論、本論、結論の構成に着目し、主張と根拠が対応していることに気付けるように読解する。		
10	論理的に書く ・根拠をふまえて主張を書こう ・構成を考えて書こう ・反論を想定して書こう ・文章を磨きあげよう	15	○筋道を立てて自分の考えを文章にして表現する。 ◆根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 ◆基本的な小論文の型を理解する。 ◆反論を想定し、説得力のある小論文を書く。 ◆推敲の観点を知り、文章を改善する。		・ワークシートを用いて、スモールステップで文章に肉付けを行っていく。		
11							
12	統計資料を活用する ・量の時代から質の時代へ ・若者の「海外旅行離れ」は本当か?	6	○資料からデータを正しく読み取る。 ◆文章と統計資料の関係を的確に読み取る。		・文章とグラフを結び付けて読解を進めていく。		
1	比べて読む ・「言葉の揺れ」を認めるか ・紙の本はなくなる	6	○複数の情報を比較しながら分析し、考察する。 ◆情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。		・ワークシートを用いて、複数の情報を図示しながら比較する。		
2	レポートを書く ・テーマを決め、問いを立てよう ・情報を収集しよう ・情報を整理しよう ・レポートをまとめよう	11	○自分で決めたテーマについて論理的な文章を書く。 ◆具体的なレポートのテーマを決め、問いを立てる。 ◆集めた情報をレポートで使えるように整理・分類する。 ◆読者を意識し、構成や記述に配慮しながら、読みやすく分かりやすいレポートを書く。		・ワークシートを用いて、スモールステップで文章に肉付けを行っていく。		
3							

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	地理総合		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 世界が抱える歴史的な課題や問題に対して知識を深める。 (2) グローバル化した現代の抱える問題に対して、自分なりの考察ができる。 (3) 考察した内容を、ICT機器を駆使して、自分なりにまとめて発信することができる。				
担当教職員 *学校介護職員	袖山 慶晴				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	高校生の地理総合(帝国書院)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	地球上の生活 GISと地図		○気候の違いや時差、多様な生活や文化について考察する。 ◆距離・方位・角度・面積などを使用用途に応じた地図の利用が可能になることを理解する。		生成AIを使い、考察したことを深められるようにしていく。
5	グローバル化 大地形と生活		○ネット・リテラシーやデジタルデバイド(情報格差)について考察する。 ◆情報通信技術の急速な発達と、その時代の変化について知る。		教職員にアンケートを実施し、自分の考察を深められるようにする。
6	小地形と生活 気候の成因と生活		○河川がつくる地形が暮らしにどのように影響してきたか考察する。 ◆地形図や地理院地図を利用して、河川の働きや河川がつくる小地形が下流へ規則的に変化することを理解する。		考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。
7	各気候の生活 言語・宗教と生活		○民族と言語の関わり、民族の共存をめぐる課題について考察する。 ◆さまざまな言語・宗教の特徴について基本的な事柄を理解する。		オリンピックと関連付けて、本人の興味・関心がもてるようにする。
9	歴史と生活 生産する産業と生活		○ラテンアメリカとアフリカの歴史的背景について確認し、それが現在にどのような影響を与えているのかを考察する。 ◆各国の言語と人種・民族の違いを理解する。		新聞から、関連する情報を見付け、考察できるようにする。
10	現代の産業と生活 地球的課題と地球環境問題		○アメリカ合衆国がリードする情報通信産業の可能性と危険性について考察する。 ◆産業のグローバル化のメリット・デメリットについて理解する。		アメリカ大統領選挙と関連付けて、興味・関心がもてるようにする。
11	エネルギー問題 人口問題		○持続可能な社会を実現するエネルギーの得方や使い方について考察する。 ◆世界の国々の発電の現状と課題を知る。		新紙幣と関連付けて、本人が興味・関心をもてるようにする。
12	食糧問題 都市問題		○日本の食料自給率と世界の食料問題について考察する。 ◆世界の人口の増え方と、食料生産の現状について知る。		生成AIを使い、考察したことを深められるようにしていく。
1	日本と自然災害	8	○日本の自然災害の歴史とその対策について考察する。 ◆日本ではどのような自然災害が起きてきたかを知る。		教職員にアンケートを実施し、自分の考察を深められるようにする。
2	自然災害と防災	7	○防災には、どのような物資、考え方が必要なかを考察する。 ◆歴史的な自然災害に対してどのような策が有効だったのかを知る。		考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。
3	持続可能な地域づくり	5	○なぜ、持続可能な社会を実現する必要があるのかを考察する。 ◆SDGsの取り組みについて知る。		一年間のまとめを、自分なりの方法でまとめ発表できるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	歴史総合			学習グループ名		高⑤	
目標・ねらい	(1) 情報を適切に調べ、まとめる技能を身に付ける。 (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結び付けて考えることができる。 (3) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて、課題を追求することができる。						
担当教職員 *学校介護職員	石田 有香						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版社)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	結びつく世界	5	○アジア諸地域の繁栄と日本、ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 ◆「世界の一体化」が始まる歴史的前提について考察できる。			資料から正しい情報を選び取れるようにする。	
5	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の形成	5	○ヨーロッパ経済の動向と産業革命、アメリカ独立革命とフランス革命、19世紀前半・後半のヨーロッパ、19世紀のアメリカ大陸、西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化、中国の開港と日本の開国◆近代ヨーロッパとアメリカ世界の展開について考察する。			時代や国ごとに情報をまとめ、比較検討できるようにする。	
6	明治維新と日本の立憲体制	5	○明治維新と諸改革、明治初期の対外関係、自由民権運動と立憲体制 ◆明治新政府と対外関係を築く背景を知り、まとめる。			考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。	
7	帝国主義の展開とアジア	5	○条約改正と日清戦争、日本の産業革命と教育の普及、帝国主義と列強の展開、世界分割と列強の対立、日露戦争とその影響 ◆帝国主義の展開とアジア諸国の対応を考察する。			情報機器を活用し、データをまとめたり、比較したりする。	
9	第一次世界大戦と大衆社会	8	○第一次世界大戦とロシア革命、国際平和と安全保障、アジア・アフリカ地域の民族運動、大衆消費社会と市民生活の変容、社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 ◆第一次世界大戦の勃発とその後の日本の変化を考察する。			資料から正しい情報を選び取れるようにする。	
10	経済危機と第二次世界大戦	7	○世界恐慌の発生と各国の対応、ファシズムの台頭、日本の恐慌と満州事変、日中戦争と国内外の動き、第二次世界大戦と太平洋戦争 ◆国際的緊張が高まり、第二次世界大戦への突入を考察する。			時代や国ごとに情報をまとめ、比較検討できるようにする。	
11	戦後の国際秩序と日本の改革	7	○新たな国際秩序と冷戦の始まり、アジア諸地域の独立、占領下の日本と民主化、占領政策の転換と日本の独立 ◆冷戦下の世界をまとめる。			考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。	
12	冷戦と世界経済	7	○集団防衛体制と核開発、米ソ両大国の平和共存、西ヨーロッパの経済復興、第三世界の連携と試練、55年体制の成立、日本の高度経済成長、核戦争の恐怖から軍縮へ、冷戦構造のゆらぎ、世界経済の転換、アジア諸地域の経済発展と市場開放			資料から正しい情報を選び取れるようにする。	
1		7	◆冷戦の時代を日本がどのように時代を切り開こうとしたかを考察する。			情報機器を活用し、データをまとめたり、比較したりする。	
2	グローバル化する世界	7	○冷戦の終結と国際情勢、ソ連の崩壊と経済のグローバル化、開発途上国の民主化と独裁政権の動揺、地域紛争の激化、国際社会の中の日本 ◆冷戦後の世界の復旧をまとめる			考察した内容を、自分なりの方法でまとめ、発表する。	
3	現代の課題	7	○人口減少化、アジアとの関係、1年間のまとめ ◆グローバル化がどのように世界の問題に向き合い、新たにどのような問題を生み出しつつあるのかを考える。			1年間のまとめを、自分なりの方法でまとめ発表できるようにする。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	地学基礎		学習グループ名		高⑨
目標・ねらい	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解する。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	榎 早百合				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	高等学校 地学基礎 (第一学習社)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	宇宙と地球	8	○宇宙と太陽の誕生(ワークシート、実験、観察) ◆宇宙の始まりや構造は、観測や理論的な研究から明らかになったことを理解し、基本的な物理法則を用いて考察を進め課題や疑問を見出している。		モデル実験を行い、スケールの異なる宇宙を観察する。
5		8	○太陽系と地球の誕生(ワークシート、実験、観察) ◆太陽系の天体の特徴が形成の歴史に関係することを理解し、現在の地球環境が偶然ではなく、形成過程を含めた歴史から理解しようとしている。		生命を育む海が形成される環境に至ったことを中心に展開する。
6					
7	生物の変遷と地球環境	6	○地層と化石(ワークシート、実験、観察) ◆地層のつき方や地層の重なりや広がりについての規則性や関係性を見出し理解し、地層の観察記録や資料に基づき、その特徴を見出し、分析し解釈し、表現できる。		露頭のモデル実験を行い、理解を深める。
9		8	○地球と生物の変遷(ワークシート、実験、観察) ◆化石や地質学的な事象から地球環境がどのように変化してきたかを理解し、地球温暖化による日常生活への影響を科学的に探究しようとしている。		既習事項を確認し、地質時代の区分について取り扱う。
10	地球のすがた	3	○地球の概観(ワークシート、実験、観察) ◆地球の形や大きさについて測定の歴史を学び、実験・実習を通してその求め方を理解する。地球内部の様子について科学的根拠のもとに考察する。		既習事項を確認しながら、地球内部の物質の違いを取り扱う。
		3	○プレートの運動(ワークシート、実験、観察) ◆プレートの分布とその境界にみられる地球表面の特徴を学び、プレートの運動を理解し、大山脈の違いについて説明することができる。		ICT機器を利用し、プレートの分布をイメージしやすくする。
11	地球の活動	3	○地震(ワークシート、調べ学習) ◆地震発生や余震活動、地震の規模を示す指標などを知識として身に付け、震源、断層面、震源域などを用語を使い分けて説明できる。		日本付近で発生する地震について取り扱う。
		3	○火山活動(ワークシート、調べ学習) ◆マグマの発生や粘性について、プレートの運動と関連付けて理解する。		ICT機器を利用し、世界の火山の分布や日本列島における火山の分布を取り扱う。
12	大気と海洋	7	○地球のエネルギー収支(ワークシート、実験、観察) ◆気温のデータからグラフを作成し、判読することができる。地球のエネルギー収支の平衡が保たれていることを理解する。		気象庁のホームページを利用し、データを集める。
1		7	○大気と海水の運動(ワークシート、調べ学習) ◆地球規模の大気の循環について理解し、風の吹くしくみと海流など、大気と海水の運動を結び付けて考察することができる。		エルニーニョ現象やラニーニャ現象などの現象を人間生活と関連付けて授業を展開する。
2		7	○地球環境の科学(ワークシート、調べ学習) ◆地球環境の変化について、人間の活動がどのような影響を与えてきたか理解し、地球温暖化を総合的、科学的に捉えようとしている。		気候変動など最近の世界の平均気温の変化などを調べる。
3	地球の環境	7	○日本の自然環境(ワークシート、調べ学習) ◆日本の自然環境や四季折々の気象の変化について理解する。それぞれの地域で発生する可能性がある災害について命を守る対応策を考える。		ハザードマップなどを活用する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1、2、3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	体育(実技)		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 個々の実態に応じた課題やルール設定を行うとともに、話し合いの場面を設定する。 (3) 目的に向けた主体的な過程を称賛し、身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める				
担当教職員 *学校介護職員	鎌形 翼、平井 帆香、杉浦 春久				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	新高等保健体育(大修館書店)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動	8	○柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	14	○陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 自身の記録の変化が分かるようにする。
6					
7	水泳	10	○泳法の学習やリラクゼーションを行う。 ◆泳法について学習したり、浮力を用いた活動を通して健康の保持増進を図る。		泳法の学習では、それぞれの泳法の特徴を学習し理解してから実技を行うようにする。 安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
9					
10	球技「ボッチャ」	14	○投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。 ◆自分が狙った場所にボールを打つことができる。		仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。
11					
12	武道「柔道」	10	○道着の着衣、つかみ、寝技の体験を行う。 ◆伝統文化として武道の基本を体験を通じて理解する。		実際の試合を見たり使用する道具に触れたりして興味や関心がもてるようにする。
1					
2	球技「ハンドサッカー」	14	○ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。 ◆ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。		チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	保健		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 健康や安全に対する理解を広げ、深める。 (2) 生涯を通じて自らの健康を適切に考えたり判断したりすることができる。 (3) 自ら健康に関する課題を発見し主体的に解決を図ろうとすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	鎌形 翼				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	新高等保健体育(大修館書店)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	・思春期と健康	3	○思春期における心の変化と健康課題、身体の変化と性機能の成熟についての学習 ◆思春期に起こりやすい健康課題について理解する。		グラフや資料を用いる。
5	・性意識の変化と性行動の選択	3	○性意識の変化と異性の尊重や性行動の選択についての学習 ◆自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性について理解する。		それぞれの考えを尊重する雰囲気を作る。
6	・結婚生活と健康 ・妊娠・出産と健康	3	○夫婦関係や親子関係と健康について、受精・妊娠・出産や母子の健康についての学習 ◆受精, 妊娠, 出産の過程と, それに伴う健康課題について理解する。		資料を用いながら学習を進めていく。
7	・家族計画	3	○家族計画の意義や避妊方法の選択と人工妊娠中絶についての学習 ◆家族計画の意義について理解する。		資料を用いながら学習を進めていく。
9	・加齢と健康 ・高齢化社会に対応した取り組み	3	○加齢による心身の変化や高齢者を取り巻く状況についての学習 ◆高齢社会における健康課題について理解する。		調べ学習を交えながら進めていく。
10	・働くことと健康 ・労働災害の防止 ・働く人の健康づくり	4	○働くことの意義と働き方の変化、日本における労働災害の推移についての学習 ◆働く人における健康問題について理解する。		自身の将来の生活を考えたり身近な問題として捉えられるようにする。
11	・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染 ・環境衛生	4	○大気汚染による健康への影響、環境汚染の防止とその対策についての学習 ◆地球規模で起きている大気環境の問題について理解する。		インターネットや新聞などを活用して学習を進める。
12	・食品の安全 ・健康制度の活用	3	○食品の安全と課題について、医療制度の役割と適切な活用の学習 ◆人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であることを理解する。		自身の生活を振り返りながら学習を進める。
1	・医薬品の制度と活用	3	○医薬品の使い方についての学習 ◆医療保険の仕組みについて理解する。		インターネットや新聞などを活用して学習を進める。
2	・様々な健康活動や対策	3	○地球規模の健康課題を解決する取り組みや組織の活動についての学習 ◆日本や世界では健康課題に対応した保健活動や対策が行われていることを理解する。		インターネットや新聞などを活用して学習を進める。
3	・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	3	○多様な人や組織が参加して進める環境づくりやまとめ ◆自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。		考えをまとめ発表する場面を設定しながら進めていく。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1、2、3学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 (2) 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 (3) 音楽文化についての興味・関心、理解を深め、卒業後の余暇活動へつなげる。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 尚子、高橋 奈穂美				
年間授業時数	35 単位時間		1		
使用教科書	音楽I Tutti+ (教育出版)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
10	【楽器】 様々な楽器による合奏、指揮を体験する。 【歌唱・鑑賞】 日本歌曲に親しもう。	12	○強弱記号や速度記号などの楽典を理解し、楽器を演奏する。 ◆合奏を通して、奏法を工夫し表現する。 ○日本歌曲に親しみながら、曲の情景や雰囲気を感じながら歌う。 ◆歌詞の意味を理解し、表現方法を考える。		・交代で指揮者を体験する。 ・多様なジャンルの中から曲を選択できるようにする。 ・選曲によっては、少人数でのグループを作る。
11					
12	【楽器】 様々な楽器による合奏、指揮を体験する。 【歌唱・鑑賞】 世界の歌曲に親しもう。	12	○強弱記号や速度記号などの楽典を理解し、楽器を演奏する。 ◆合奏を通して、奏法を工夫し表現する。 ○世界の歌曲に親しみながら、曲の情景や雰囲気を感じながら歌う。 ◆歌詞の意味を理解し、表現方法を考える。		・多様なジャンルの中から曲を選択できるようにする。 ・選曲によっては、少人数でのグループを作る。
1					
2	【歌唱・楽器・鑑賞】 コンサートを開こう	10	○コンサートの運営・企画 ◆既習曲を発表する。 ◆主体的に活動に参加する。		・発表の日時を設定し、その日に向かって計画、練習できるようにする。 ・活動を振り返られるよう活動記録を活用する。
3					
通年	【鑑賞】 作曲家新聞を作ろう	35	○クラシック音楽を鑑賞し特徴を知る。 ◆作曲家について、幅広い知識を得る。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	知的障害を併せ有する生徒の教育課程
教科等名	美術		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	佐藤 やよい、高橋 奈穂美				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	美術1 (光村図書)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	モダンアート: にじみ絵、吹き流し、ストリング(引き絵)。	12	○色の3原色を水や風や紐の動きによって混色しながら描画する。 ◆様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を味わい楽しむ。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
5					
6	版画: モノ版画	12	○一回限り(モノ)の版画の難しさや緊張感を味わいながら制作する。 ◆色や形を工夫しながら、自分が納得できる作品を完成させる喜びを味わう。		・手の操作性に合わせた、用具を工夫する。
7					
9	絵画: 生物を描く(パチック等の技法を用いた描画)	8	○水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてパチックの技法を用いて生物を表現する。 ◆選択した生物の表現方法を模索し、効果的な技法で描画する。		・作る作品についてipadを用い調べ学習をする時間を設ける。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第1学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	家庭基礎		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 健康で安全な充実した生活を送るための食生活・衣生活・住生活について知識を深める。 (2) 自分と社会のつながりを考え、主体的に意思決定を行う力を育てる。 (3) 生活の充実向上を図る実践的な態度を育てる。				
担当教職員 *学校介護職員	石渡 ひかり				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	第1章 自分らしい人生 ・青年期の課題 ・目標を持って生きる ・人生をつくる	5	○自立度チェックシートを用いて、今現在の自立度と、課題を知る。 ◆今の自分を見つめ、青年期の課題である「自立」について考える。(思考・判断・表現)		チェックシートを用いることで、結果を視覚的に理解しやすくする。
5	・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	7	○家庭・家族の法律クイズを解いて、家庭・家族の法律の知識を深める。 ◆家庭・家族についての法律を知り、将来について考える。(知識・理解)		学習後に小テストを行い、間違えたところを再度学習して知識を定着させる。
6	第5章 食生活をつくる ・食事と栄養・食品 ・食生活の安全と衛生 ・調理実習、調理実験	7	○食事バランスガイドの目安と自分の一日の食事とを比較して、問題点を見付け、改善として栄養バランスの良い食事を調理する。 ◆青年期の食生活を理解し、よりよい食習慣を形成する力を伸ばす。(思考・判断・表現)		チェックシートを用いることで、結果を視覚的に理解しやすくする。
7	第3章 高齢社会を生きる ・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴	7	○高齢社会に関わる本を読み、気付きをワークシートでまとめる。 ◆高齢社会の現状と課題を理解しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)		思考整理のワークシートを用い、感じたことや考えたことをまとめやすくする。
9	第4章 共生社会をつくる ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方	7	○一人暮らしをする際にかかる費用を、Excelを使って計算する。 ◆消費者の権利と責任を理解し、家計の管理能力を伸ばす。(知識・理解)		計算をPCに任せることでミスをなくし、結果や改善に意識が向くようにする。
10	第6章 衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を管理する ・被服又は布小物制作	7	○自分らしい着装について考え、自分の必要な被服を自らデザインして制作する。 ◆衣生活に対して正しい知識を持ち、自分らしい着装ができるようにする。(思考・判断・表現)		見本の提示に実物を用いることで、イメージしやすくする。
11	第8章 経済生活を営む ・現代の消費社会 ・消費者の権利と責任	7	○一人暮らしをする際にかかる費用を、Excelを使って計算する。 ◆消費者の権利と責任を理解し、家計管理能力を伸ばす。(知識・理解)		計算をPCに任せることでミスをなくし、結果や改善に意識が向くようにする。
12	第2章 子どもと共に育つ ・子どもの育つ力を知る ・子どもの触れ合いから学ぶ	7	○絵本の対象年齢とねらいを考えて読み聞かせをする。 ◆子供の発達の目安を知ろうとする。(主体的に学習に取り組む態度)		小学部に出向き、実際に評価を得ることで、意欲を伸ばす。
1	第7章 住生活をつくる ・住生活について考える	7	○学校の平面図を描く。 ◆住居の平面図を学習する。(知識・理解)		実際に校内を回りながら描いていくことで、イメージしやすくする。
2	まとめ ・調理実習、調理実験 ・布地を使用した制作 ・課題研究	9	○自分の生活で必要なものを、企画・デザインして制作する。 ◆生活の計画力を伸ばす。(思考・判断・表現)		タブレット端末や動画教材を活用し、視覚的、体験的学習を取り入れる。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	英語コミュニケーションII		学習グループ名		高⑤		
目標・ねらい	(1) 日常的・社会的な話題について、英語で理解したり表現したりすることができる。 (2) 演習等を繰り返し行い表現を身に付け、自主的に表現することができる。 (3) 視覚的資料を活用し、生徒が興味・関心をもって取り組むことができるようにする。						
担当教職員 *学校介護職員	渡邊 沙綾						
年間授業時数	140 単位時間						
使用教科書	All Abroad! English Communication II (東京書籍)						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	これまでの復習 Pre-Lesson	10	○基本的な英文法復習 ◆be動詞や一般動詞の基本事項の定着			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
5	L.1 A Colorful Island	14	○関係代名詞 what/比較表現 ◆海外で興味のある場所について述べる			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
6	L.2 With the Beatles	15	○比較表現 more/ the most ◆世代を超えて人気のある人物について述べる			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
7	L.3 Wild Men	10	○itの用法 It is to / It is that ◆身近な行事を紹介する			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
9	L.4 Little Hero	14	○関係疑問文 ◆自分の好きなものを紹介する			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
10	L.5 Special Make-up in Kabuki	14	○to不定詞を含む表現 ◆日本の伝統文化について説明する			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
11	Reading Lesson <i>Mujina</i>	14	○既習の学習事項を使い、物語を読む ◆物語の背景や状況を思い浮かべながら読む			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
12	L.6 Seeds for Future Generations	12	○動詞の目的語になるif節 ◆地元の場所やものについて説明する			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
1	L.7 Over the wall	10	○関係副詞 where/ when ◆世界の人たちと交流する方法について述べる			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
2	L.8 Inspiration from Nature	12	○知覚動詞 see/ hear/ feel ◆自然界のデザインをヒントにした製品について述べる			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
3	これまでの復習	10	○1, 2年で学習した学習した内容、文法事項について復習する ◆文法問題や物語に取り組む			できるだけ英語によるインタラクションを通して理解・表現につなげる。	
通年	ALTとの英会話	5	○ニュースや季節についての話題 ▲異文化に関心をもち、英語運用能力を高める。			できるだけ日本語を介さないで理解させる。	

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	コンピュータ実技A (総合ビジネス類型)		学習グループ名				高⑤
目標・ねらい	(1) 情報Iの学習内容を踏まえ、コンピュータを実社会で活用するための基礎的な力を付ける (2) 実習、演習を通して、ICTの活用能力の拡充を図る。 (3) 生成AI研究校として、生徒が生成AIを問題解決に活用できるようにする						
担当教職員 *学校介護職員	高澤 昇太郎						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	なし						
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)			指導上の留意点及び工夫	
4	ワープロソフトの活用	20	○文書作成 ◆ワープロソフトの基礎的操作から応用的な操作まで身に付ける			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の障害の状況に合わせてコンピュータの設定や環境設定を行う ・実習、演習を中心に学習を展開し、操作の知識、技能を高められるようにする ・必要に応じて副教材の活用や操作手順書を作成する 	
5	プレゼンテーションソフトの活用		○プレゼン作成 ◆各機能を効果的に活用し、プレゼン資料作成ができる				
6			○プレゼン作成 ◆発表する相手を考慮して、プレゼン資料作成ができる				
7			○プレゼン実施 ◆分かりやすいプレゼン発表を行うことができたか				
9	表計算ソフトの活用	30	○表計算ソフトの活用、文書作成 ◆各機能、関数を効果的に活用し、文書作成ができる				
10			○表計算ソフトの活用、文書作成 ◆各機能、関数を効果的に活用し、文書作成ができる				
11			○表計算ソフトの活用、文書作成 ◆各機能、関数を効果的に活用し、文書作成ができる				
12			○表計算ソフトの活用、文書作成 ◆各機能、関数を効果的に活用し、文書作成ができる				
1	ワープロソフトの活用	20	○文書作成 ◆ワープロソフトの基礎的操作から応用的な操作まで身に付ける				
2	プレゼンテーションソフトの活用		○プレゼン作成 ◆発表する相手を考慮して、プレゼン資料作成ができる				
3			○プレゼン作成 ◆発表する相手を考慮して、プレゼン資料作成ができる				
通年	生成AIの活用		◆exaBaseを活用して問題解決を図る				

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	国語演習A		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1)小説、評論を中心に、様々な文章を適切に読解する力を伸ばす。 (2)文章で書かれた出来事や問題について、自分なりの考えをもつ。 (3)主体的に文章を読み、演習課題に取り組もうとする。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	現代文の基本的な読解演習	6	○短い文章を使った読解演習 ◆短い文字数の抜き出し、接続詞の選択ができる。		・接続詞の役割の復習を行い、文章の中での接続詞の役割を確認できるようにする。
5	文章の構成	8	○評論文の段落分け演習 ◆段落と段落のつながりを理解することができる。		・段落ごとに書かれている内容を整理できるようにし、段落ごとの役割を理解できるようにする。
6	対比・対立	6	○評論文の読解演習 ◆対比・対立されている語句を見つけることができる。		・ワークシートを用意し、対比されている表現を抜き出すことができるようにする。
7	言い換え・同義	4	○評論文の読解演習 ◆言い換えられている表現、同義の語句を見つけることができる。		・本文に直接書き込めるように指導し、同じ意味の語句を見付けやすくする。
9	文学史	6	○近現代の小説、詩歌 ◆日本の文豪についての知識を深める。		・映像資料等を活用し、作者、作品に親しむことができるようにする。
10	小説の読解(1)	8	○小説の読解演習 ◆登場人物の心情の動きを読み取ることができる。		・穴埋め形式のプリントで、段落ごとに心情の変化を把握できるようにする。
11	小説の読解(2)	8	○小説の読解演習 ◆物語の主題を読み取り、自分の感想をもつことができる。		・穴埋め形式のプリントで、段落ごとに要約できるようにし、物語の全体像を把握できるようにする。
12	随筆を読む	6	○随筆の読解演習 ◆文章から筆者のものの方・考え方を読み取ることができる。		・複数の随筆を読み比べることで、書かれた時代の世相について理解を深められるようにする。
1	詩を読む	6	○詩の読解演習 ◆詩の技法や比喻表現を理解し、筆者が込めた思いを読み取る。		・複数の詩を読み比べることで、表現技法や比喻の効果への理解を深められるようにする。
2	寓話・小話	8	○寓話・小話を読む ◆寓話・小話に込められた教訓を読み取ることができる。		・一方的に教訓を教えるのではなく、自分なりの解釈ができるように指導する。
3	短歌・俳句に親しむ	4	○短歌・俳句を詠む ◆近現代を代表する歌人、俳人の作品を味わうことができる。		・短歌、俳句を自分でも作ることで、言葉のリズムに親しむことができるようにする。
通年	漢字演習、四字熟語、ことわざ、	-	○漢字、四字熟語、ことわざ演習 ◆語彙力、漢字の知識を増やすことができる。		・ワークシートを用いて、繰り返し学習できるようにする。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	産業社会と人間		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 共生社会を構築する人材としての、社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 (2) 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。 (3) 将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた計画を作成する。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	社会生活の基礎	3	○社会生活におけるルールやマナー、コミュニケーションスキル ◆社会生活を営む上で必要となる、基本的なルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付ける。		・ロールプレイの様子を映像として残して、振り返りの題材とする。
5	共生社会の実現	9	○共生社会の実現に向けた課題について考える。 ◆障害者を取り巻く現状と課題について調べ、自らの社会的自立について考える。		・共生社会の実現に向けた課題を考えるにあたっては、自分の立場だけでなく、友達を含む様々な障害者の立場に目が行くように助言する。
6					
7					
9	「わたし」を知ろう 自己理解・他者理解	14	○過去・現在・未来の自分を考えることで、「わたし」についての考察を深める。 ◆自己について考え、また他者を知ることによって、自己理解を深める。 ○働き方や生き方を知り、自分の社会参加について考える。 ◆生活の基盤となる「働く」ことの意義を考える。		・自分史を作成する中で、自らを振り返れるよう助言する。 ・実感をより得やすいように、家族や先輩等身近な人の話を題材にする。
10					
11					
12					
1	主権者教育 消費者教育	9	○選挙権獲得と選挙権行使について考える。 ◆主権者とは何か、選挙とは何かを考える。 ○新聞記事やインターネット情報をもとに、消費者を取り巻く諸課題について考える。 ◆消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結び付けることができる実践的な能力を育む。		・新聞やインターネット上の記事を用いて、身近な話題として捉えられるようにする。
2					
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	職業実習		学習グループ名		高⑤
目標・ねらい	<p>(1) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。</p> <p>(2) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。</p> <p>(3) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p>				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	クリーニング プリントの丁合・封筒詰め、 配布などの校内受注作業	70	<p>○ベッドシーツの交換及びクリーニング ◆定期的に行う作業を通して、働くことの意義を感じ、達成感を味わう。</p> <p>○プリントの丁合・封筒詰め ○レターボックスへのプリント類の配布など ◆丁寧さや確実さの必要な作業を通して、手指の高地性の向上を図るとともに、手順や効率性の高さを大切にす姿勢を身に付ける。</p>		<p>・できることを増やす視点を持ちながらも、自らできないことを見極めて、支援を求められるように適宜助言する。</p> <p>・「産業社会と人間」と連携し、学んだビジネスマナーや適切なコミュニケーションを実践の場で使えるように適宜助言する。</p>

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	総合的な探求の時間		学習グループ名	2学年	
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の意見課題を見付け、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見付け、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について	3	○高等部の1年間の活動に見通しもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部2学年の生活を知り、学年目標や係活動を決める。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
5	学期の行事の確認 体育祭事前事後学習	7	○写真やスライドを見たり、簡単な体験をしたりする。 ◆学期の学習について知り、学校生活に見通しをもつ。 ○体育祭の応援の練習や、出場種目を披露する。 ◆体育祭を通して、友達と協力する力を養う。		
6					
7	宿泊行事に向けて	2	○場所の写真やスライドを見て、行く場所について考える。 ◆移動教室に行く場所を知り、地域について考え、できる活動を考える。		
9	修学旅行に向けて	7	○班ごとにテーマを決めて活動をする。 ◆修学旅行で行く場所を知り、地域について考え、できる活動を行う。		
10					
11	墨東祭事前学習	4	○修学旅行の事前学習で行ったことを活かして墨東祭準備を行う。 ◆先生や友達と協力して活動する。		
12	修学旅行 墨東祭事後学習	3	○調べ、発表したそれぞれのテーマを振り返る。 ◆移動教室・墨東祭の学習を振り返る。		
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行い、仕組みを学ぶ。 ◆選挙を通して社会を知る。		・写真やスライドなどの視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 ・実態に合わせた補助具や教材を用いることで、活動の中で成功体験を多く積めるようにする。 ・グループ教室以外での活動や、班行動での活動を行う。
2	進路学習	3	○興味ある職業についてICT機器を使って調べる。 ◆卒業後の進路について考える。		
3	1年間のまとめ 進級するにあたって	3	○1年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し合い、認め合う。		

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名	2学年	
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、志賀 拓也、長峰 亜矢子、石渡 ひかり、渡邊 沙綾、小畑 圭輝、西坂 千恵美、張替 良太 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	高等部2学年の生活について 新入生歓迎会	3	○高2の一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。 ◆高等部2学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
5	レクリエーション 社会見学事前学習	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。 ○社会見学のしおり作りや画像行く場所の確認 ▲社会見学についての意識を高める		
6	体育祭に向けて	4	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		
7	レクリエーション	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		
9	レクリエーション 社会見学事前学習	3	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。 ○社会見学のしおり作りや画像行く場所の確認 ▲社会見学についての意識を高める		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
10	修学旅行事前学習	4	○調べ学習やしおりの印刷・製本をする ○当日の行動予定を立てる。 ◆宿泊行事への期待感を高め、活動について見通しをもつ。		
11	墨東祭に向けて	3	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。		
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。		
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や資料等を使って分かりやすく提示する。 ・全員が意欲的に参加できるよう配慮する。 ・文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。
2	伝統文化に触れよう	3	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		
3	1年間のまとめ	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		
通年		35			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名	高⑤	
目標・ねらい	(1) 生徒が障害の状態や発達の段階に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする。 (2) 障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する				
担当教職員 *学校介護職員	杉浦 春久、高橋 奈穂美、佐藤 やよい				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	自立活動	70	<p>○セルフストレッチ・筋力トレーニング ◆筋緊張の緩和や疲労回復、並びに関節の可動域の維持・拡大を図るとともに、主体的に自らの身体の状態を判断し、セルフメンテナンスを行おうとする姿勢を育む。 ○座位、膝立ち、立位の取り組み ◆主に静的バランス力の向上を図る。 ○バランスボールやトランポリンを使った活動 ◆体幹の強化並びにバランス力の向上を図る。 ○歩行訓練、階段昇降 ◆主に動的バランス力の向上、並びに下肢筋力の維持・強化を図る。 ○手指の操作性を高める活動 ◆手指を用いた作業に対する作業性の向上を図る。 ○車いすの操作技術の向上、並びに安全に運行するための知識の取得 ◆社会生活における行動範囲の拡大を目指す。</p>		<p>・生徒自身が主体的に身体に取り組むために、体調などを確認する中で、生徒と教員間で取り組むべきメニューを相談して決定していく。 ・車いすの取り組みでは、校内並びに学校周辺の歩道などを活用することで、様々な環境下での走行を体験する。</p>